

平成24年2月

# 村田暁彦 学位論文審査要旨

主 査 佐 藤 建 三  
副主査 竹 内 隆  
同 林 眞 一

## 主論文

A Notch ligand, Delta-like 1 functions as an adhesion molecule for mast cells  
(Notchリガンド、Delta-like 1はマスト細胞の接着分子として機能する)

(著者：村田暁彦、奥山一生、坂野誠治、加治木正洋、平田朝久、八木田秀雄、

Juan Carlos Zúñiga-Pflücker、三宅健介、高村祥子（旧姓：赤司）、森脇佐和子、  
新飯田俊平、吉野三也、林眞一)

平成22年 The Journal of Immunology 185巻 3905頁～3912頁

## 審査結果の要旨

本研究は、NotchリガンドであるD111を強制発現したOP9間質細胞(OP9-DL1)を用いて、Notchのマスト細胞の接着への関与を検討したものである。その結果、マスト細胞の接着がD111存在下で亢進すること、更に接着の亢進にはNotchシグナルは全く関与しておらず、Notch2/D111の結合を競合阻害した時にのみ阻害される事が示された。よって、シグナル分子としての機能のみが知られていたNotchに、接着分子としてマスト細胞の接着を促進する機能があることが明らかにされた。本論文の内容は、炎症組織へのマスト細胞の集積にNotchが接着分子として関与する事を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。